

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	良く なっている	その他専門店 〔海産物〕（経 営者）	来客数の動き	・出雲大社大遷宮の効果で増加した来客数は、さすがに12月中旬から減少してきたが、例年に比べれば、はるかに多かった。
		一般レストラン （外食事業担 当）	単価の動き	・忘年会シーズンで、客単価が上昇している。
都市型ホテル （スタッフ）		お客様の様子	・忘年会の利用が前年と比べ大幅に増えている。	
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・商店街への来街者、来客数とも増加してきている。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・客の買上点数が増加した。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・クリスマスと歳末商戦をみると、商店街に来る客の多さに、好景気と活気を感じる。しかし、業種や店舗によっては影響を受けていない所もあり、売上の格差が著しい。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・今月の売上目標は、リニューアル効果で売上が伸びた前年から、さらにプラス5%で計画していたが、その数字も確保できている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・ここ3か月の来客数は前年の100%、客単価は前年の104%で、好調である。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・来客数の伸びはないが、販売点数が確実に増加している。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・中食動向が上向きである。
		衣料品専門店 （地域ブロック 長）	単価の動き	・来客数は増加したが、単価は変わらない。
		家電量販店（販 売担当）	来客数の動き	・年末・ボーナスといった季節的要因で景気が良い。
		家電量販店（企 画担当）	来客数の動き	・消費税増税を視野に入れた駆け込み需要が出ている。
		乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・11～12月と、販売量が前年の110%になった。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・販売量は前年より伸びている。
		自動車備品販売 店（経営者）	販売量の動き	・なかなか後が続かないものの、季節用品が早めに動き始めた。
		住関連専門店 （営業担当）	来客数の動き	・来客数は微増で、客単価も上昇している。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（運 営担当）	来客数の動き	・気温の低下に伴い、冬物衣料、スキー・スノーボード商品などの売上は堅調である。来客数も前年の115%で推移している。
		一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・人の動きが出てきて、使用金額も増えている。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・忘年会利用の来客数が、前年に比べ増加している。また、利用するコースも高単価の商品が増えた。
		その他飲食 〔サービスエリ ア内レストラ ン〕（支配人）	販売量の動き	・来客数は微増であるが、売上は好調に伸びている。客の購買意欲が高まっている。
		観光型ホテル （支配人）	販売量の動き	・今月は全体の売上は、前年を下回る見込みであるが、婚礼売上のマイナスが主因である。宿泊、その他の宴会売上はプラスになっており、特に企業の忘年会等の宴会需要が増えている。
		旅行代理店（営 業担当）	お客様の様子	・3月までの申込状況は好調である。
タクシー運転手	販売量の動き	・1年で最も売上が良い時期になっている。忘年会も増えており、前年より数%、売上が増加している。		
テーマパーク （業務担当）	来客数の動き	・イルミネーションの開催で、来客数が増加してきている。		
競艇場（職員）	販売量の動き	・今月中旬から下旬に開催するレースで、売上が確保できた。		
設計事務所（経 営者）	来客数の動き	・住宅のリフォーム相談の引き合いが、前年同月に比べて多い。新築に代わってリフォームが徐々に増えている。		

変わらない

商店街（代表者）	来客数の動き	・地方都市の商店では、客の財布のひもが固く、必要以上に買物をしない傾向がある。
商店街（理事）	来客数の動き	・買物に出る頻度が少ない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・物価は上昇し、増税の不安もある一方、収入の停滞が続いている。
一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・購買意欲のある客が引き続き目立つ。
一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・古いゴム印、印鑑のやり替え注文が増えており、景気は回復している。
一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年を下回っているが、買上点数は増加している。しかし販売価格が上昇しているため、客は低単価の商品ばかりを買う。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・テナントのうち、前年の売上を超えている店舗は約半数で、アパレル系が良くない。飲食やヘアサロンなどのサービス業は好調に推移しているが、寒くなっても、ボーナスが出ても、アパレル系が伸びない。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・10～11月と苦戦が続いたファッション部門は、プレセールがスタートし価格が下がったことにより、復調してきた。10月の消費税増税発表後、客の価格に対する目が厳しくなっているが、今後セールが本格化して、さらに価格が下がれば、冬物の動きは活発化する。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・今月はクリスマス需要のラグジュアリーブランドがやや苦戦するものの、衣料品、雑貨全体の売上は、前年並みで推移している。食料品はやや苦戦が続くが、店全体としては前年の売上をクリアする見込みである。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品関係は厳しい状況で、紳士服、婦人服、子供服は大幅に前年の売上を下回っている。消費税増税前の駆け込み需要で、高額な美術品、宝飾品、ブランドバッグが良く動いている。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月は年末で、来客数は増加したが、当店は普通の店舗より高齢の客が多いという事情があるため、景気は、おおむね変わっていないと判断する。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・500万円の高額商品を買う客はいるが、全体の売上は良くない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の影響は一段落したが、依然として、来客数が前年を超えない。
スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・野菜などの単価が上昇したが、販売点数の落ち込みはない。雑貨類の動きが良くない。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・単価の上昇で、売上は前年を上回っているが、既存店の来客数は前年を下回っている。
スーパー（管理担当）	お客様の様子	・客単価は前年同月を若干、下回っているが、来客数の増加により、売上は増加している。ただ、販売価格の高騰の影響が大きいと思われるので、楽観できない。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が引き続き前年を下回っている。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・あまり景気が良いと感じられず、来客数も少ない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・年末年始の連休が長いのが、客は比較的ゆったりとして、消費税増税への関心も感じられず、販売増加に結び付いていない。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・サービスの点検入庫はもちろんのこと、平日も来客数が多く、前年の130%で推移している。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・売上は前年と比べて、良くもなく、悪くもない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・販売量に大幅な増減はない。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・忘年会が行われる月で、客が増加している。気分的に財布のひもが緩んでいるようである。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・高額商品には駆け込み需要があるが、日常消耗品は節約ムードが強い。

その他小売 [ショッピング センター] (支 配人)	販売量の動き	・今年はクリスマスイブが平日だったため、ギフト関連やケーキの予約等の需要はあったが、イブ当日の落ち込みをカバーできなかった。例年より早く気温が低下したため、冬物商品の動向は良い。
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移している。
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊客数に変化はないが、客室単価は伸びている。レストラン部門に関しては、来客数、売上ともに、引き続き伸びている。
旅行代理店 (経 営者)	お客様の様子	・景気対策により景気が上向いていたときに、消費税増税が決定されたため、客は旅行への関心を失ってしまい、当業界にとっては厳しい。
タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き 来客数の動き	・忘年会の時期であるが、回数が減っている。 ・金曜日、土曜日は忘年会で忙しいが、平日は他の月と変わらない。
通信会社 (企画 担当)	お客様の様子	・客の新サービス等への関心は、相変わらず高い。
通信会社 (広報 担当)	販売量の動き	・ボーナス商戦期であるが、爆発的に売れる状態ではない。
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・来客数、販売量ともに、前年と比べてあまり変化はない。
テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・天候に恵まれ、来客数は多かったが、客単価に変化はない。
ゴルフ場 (営業 担当)	お客様の様子	・来客数は先月と変わらないが、この時期のゴルフ場は、すべて天候に左右されるので、景気とはあまり関係がない。
美容室 (経営 者)	来客数の動き	・通常であれば来客数が増加する12月に増加していないので、景気は引き続きあまり良くない。
美容室 (経営 者)	お客様の様子	・収入が増えたという話は客から聞かれないし、忘年会に参加しても一次会で終わるようである。
その他サービス [介護サー ビス] (介護サ ービス担当)	お客様の様子	・景気の変化がうかがえるような話は、客から一切聞かれない。これまでと全く変わらない生活を送っているようである。
設計事務所 (経 営者)	競争相手の様子	・消費税増税前の駆け込み受注残を抱えて、引き続き忙しくしている会社が多い。ただ、資材価格が値上がりしたため、収益を圧迫している。
設計事務所 (経 営者)	お客様の様子	・報道が景気回復を唱えることで、高揚ムードに誘導しているように思える。あくまでも首都圏及び大手企業に限られた話であり、地方では、業者の生き残り競争及び厳しい雇用情勢に変化はみられない。
設計事務所 (経 営者)	来客数の動き	・事業用建築、戸建て住宅、大規模修繕、リフォームなど、すべてのタイプで引き合いが続いている。これまでは、タイプごとに、全く引き合いがない時期があったが、現在は、すべてのタイプで動きがみられる。
住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・客が動いている様子はあるが、目立った新しい変動要素はない。
住宅販売会社 (販売担当)	お客様の様子	・新規分譲地への問い合わせもあり、客の購入意欲を感じる。住宅取得の税制優遇やローン金利を考慮しつつ、時間をかけて検討する様子が見える。
やや悪く なっている	商店街 (代表 者)	単価の動き
	一般小売店 [茶] (経営 者)	販売量の動き
	一般小売店 [酒 店] (経営者)	販売量の動き
	百貨店 (営業担 当)	来客数の動き
	百貨店 (電算担 当)	販売量の動き
	スーパー (総務 担当)	単価の動き
	スーパー (販売 担当)	来客数の動き
		・アベノミクス効果はなく、デフレ、節約志向が続いている。景気が良くなる気配はない。 ・歳暮の注文も減り、単価も低くなっている。中元、歳暮を贈る習慣がなくなっている。今後の対応を考えなくてはならない。 ・忘年会シーズンで、例年並みの売上はあるだろうと考えていたが、忘年会をやらない企業が増えてきているようで、11月の方が忙しかったと思うほど、売上が良くない。 ・来客数が前年と比較して5%減で、売上や購入客数も同様に5%減と、厳しい状況である。特に今月中旬に実施したプレセールの売上が、前年を大きく割り込んだ。 ・主力の婦人衣料をはじめ、雑貨・食品を含めた全体の売上は、前年比でマイナス4%である。消費税増税前の駆け込み需要も感じられず、厳しい。 ・年末に向けて、来客数、客単価は、ともに伸び悩み状態である。 ・客単価は数か月前と比べてもそれほど悪くないが、来店頻度は減少傾向である。

	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・電子マネーを利用する客が増え、売上はそれほど影響を受けていないが、工事客が減少して来客数は落ち込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・マスコミは、デフレ解消の兆しを報道するが、地方では引き続き、単価は下落傾向にある。客が収入増加を実感できないため、客単価、1組単価の下落が続く。
	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・団体予約が少ない時期であり、イベント等の特需もなく、個人の動きも悪い。ビジネス需要も低迷している。年末年始の予約状況は、稼働率も単価も、やや前年を上回っているが、景気が良くなっている実感は全くない。
	通信会社（工事担当）	販売量の動き	・競争激化で需要がなかなか伸びない。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が9月で終わったため、それ以降は、展示場来場者数が減少している。
	悪くなっている	その他専門店〔時計〕（経営者）	・今月の売上は、ここ20数年間で最低である。今年は、当地方では災害もあったので、クリスマス景気を全く感じられない。
企業動向関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・自動車産業の動きが良く、景気も良い。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き ・歳暮受注が好調で、電子商取引も広まってクリスマス前の荷動きが増えている。おせち料理の受注も好調で、世の中の生活スタイルの変化は、物流にも表れている。
やや良くなっている		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・当社は、秋から冬にかけての製品が多く、スーパーでの売上も良く、景気は上向いている。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き ・冬季ボーナスは増加傾向にあり、消費マインドも少しずつ高まってきている。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き ・主要原料である苛性ソーダの値上げが、各メーカーから出そるい、取引先に対する値上げ交渉の目は、ほぼついた。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子 ・自動車、建築関係の好調による市中在庫のタイト感が強まっており、市況も上昇傾向である。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子 ・自動車関連を中心に増産傾向が見込まれる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・商談件数が増加しているが、消費税増税の影響で、なかなか成約に結び付かない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・新年度に向けて教育端末の受注量が増加している。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注量や販売量の動き ・仕事量や為替の影響から、今年度が売上高の底であり、2014年度以降は緩やかに回復していく。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き ・建設関係では受注する工事が活発になっている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子 ・10月以降、流通・製造業で、来年度の予算取りに向けた設備投資の提案依頼が増加しており、案件によっては、今年度での前倒受注も発生している。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子 ・企業の運転資金、個人の住宅ローンなど、資金ニーズは高まりつつある。消費税増税前の駆け込み需要や年末資金など、取引先の金の動きからみて、景気はやや良くなっている。日経平均株価も上昇傾向にあり、有価証券の売買の話もよく聞く。
		変わらない	
化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き ・原燃料費高を補てんするための製品価格の値上げが、なかなか進まない。		
窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き ・出荷量は工事案件の谷間で低調であるが、生産量は、年末年始を考慮し、同水準を維持している。		
非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き ・電子機器関連では在庫調整があるものの、輸送用機器関連は堅調に推移している。		
金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・受注量は過去3か月、横ばいで推移しており、大きな変化はない。		

	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・現在、人気製品向け部品の受注数量は高止まりしており、新製品とあわせて、受注量は好調を維持している。	
	輸送業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・取扱数量は増加したが、それに見合う利益増までにはいかない。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末の駆け込み受注もなく、消費税増税前の通信設備の更改を提案しても、見送られるケースが多く、受注量は例年と変わらない。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・賃貸物件に関して、来客数、成約件数は、ともに横ばい状況である。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響を受けて、建売住宅・マンションの販売促進目的の受注は増加しているが、他業種からの受注増加は見られず、全体では変わらない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・秋の行楽シーズンがないまま、師走に突入したためか、客の消費マインドが例年よりワンテンポ遅れている。し好品関係の小売業は、今一つ、波に乗り切れていない。	
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	それ以外	・原材料価格の高騰が止まらない。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円安により材料・部品価格が上昇しているが、商品価格を上げられないため、収益が圧迫されている。受注も減少の見通しである。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・9月末までの駆け込み受注物件の着工が遅れており、職人の人件費、建設資材のコストアップは、今後も続くことが予想されるが、受注価格には転嫁できないため、利益率の低下は避けられない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・販売員を採用したい企業側の動きと、その職種を希望する求職者の動きがともに活発になっており、成約数が増えている。
(中国)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画担当）	周辺企業の様子	・自動車・住宅関連で、求人の動きが活発になっている。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	求職者数の動き	・新規求人の意欲は、各企業とも高まってきている。しかし採用に当たっては、マッチする人材でなければ妥協せず、採用活動を継続している。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・新卒採用の広告出稿依頼が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・来春卒業予定の就職内定率が47.6%で、前年同期を3.0%上回った。景気が持ち直してきている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・正社員の有効求人倍率が、6か月連続で上昇している。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求職者数は、前年同月と比較して減少が続く一方、新規求人数は増加が続いており、有効求人倍率は上昇している。事業所の閉鎖等の情報もあるが、現時点では当地域の雇用情勢に影響を与えるような事案はない。
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・求人票に記載されるボーナス月数に変化が生じている。リーマンショック前の水準に戻っている企業も多く、好調ぶりをうかがわせる。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・2015年度に就職をする現大学3年生に対する求人が活発で、前年度を上回る勢いである。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・スマートフォンやソーラー関係が好調なハードウェア製造業、繁忙期を迎えている水産加工などの食品製造業が、けん引役となり、求人全体で増加傾向が継続し、有効求人倍率は2か月連続で0.9倍台をキープした。
	変わらない	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べて若干増加しているが、フルタイム求人数は減少しており、景気が上向いているとはいえない。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・特に変化は見られない。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-